

みんなで支え合い、一人ひとりが大切にされる地域福祉
だれもが安心・安全に暮らせる地域社会をめざして

かすや社協だより

“KASUYA Newsletter” from KASUYA Council of Social Welfare

“Spreading Central Community Chest”

「赤い羽根共同募金」

まちに広がる支援の輪



TOPICS

- 2 赤い羽根共同募金
- 3 赤い羽根共同募金の4つの使いみち
- 4 いろいろな募金方法
- 5 社協ダイアリー
- 6-7 ちょっと気になる？
子どもの動きQ&A
- 8 お知らせ

No.

111

2022.10



社会福祉法人
粕屋町社会福祉協議会
KASUYA COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

赤い羽根共同募金

Central Community Chest



みなさんきっと一度は耳にしたことがある赤い羽根共同募金。
募金にも協力したことはあるけれど、その成り立ちや使われ方はご存じない方もいらっしゃるかもしれません。
今回はそんな赤い羽根共同募金について掘り下げてご紹介します。

赤い羽根共同募金とは

戦後間もない1947年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。
共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「しづんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

たすけあいのところがルーツ

昔、スイスの小さな村で1人の牧師が、生活に困っている人や病人、老人を助けるために、道端の木に「与えよ、取れよ」と書いた箱をつるしておきました。これをみた村人の中で、多少とも余裕のある人はその箱の中にいくらかのお金を入れ、困っている人は箱の中から必要なだけお金を取っていきました。この「たすけあいのところ」が赤い羽根共同募金の始まりと言われています。赤い羽根共同募金には、そんな優しい気持ちがつまっています。

(福岡県共同募金会ホームページより引用)

赤い羽根共同募金キャッチフレーズ

赤い羽根共同募金運動を盛り上げるために、令和4年度赤い羽根キャッチフレーズを募集したところ、福岡県内の小・中・高校・特別支援学校から3,659作品の応募があり、大川小学校は特別賞を受賞されました。おめでとうございます！

令和4年度赤い羽根共同募金キャッチフレーズの最優秀作品はこちらに選ばれました。

支え合い 未来につなげる おくり物・・・赤い羽根共同募金

須恵町立須恵第一小学校6年 常光 こはる さん

赤い羽根共同募金の使いみち

赤い羽根共同募金が、他の募金と違う大きな特徴として、「時代や地域ごとの福祉課題を解決するため、いろいろな活動に柔軟に使っている」ことがあげられます。
共同募金は、地域の状況に応じた柔軟な配分を行っています。共同募金のように長年にわたって幅広い分野で活躍する募金は他にはありません。なお、共同募金の使いみちについては、赤い羽根データベース「はねっと」ですべて公開しています。



令和3年12月31日までに
お寄せいただいたお金

10,942,746 円

粕屋町共同募金会

福岡県共同募金会

- ◎福岡県の各活動
- ◎災害時の備え

令和4年度(令和3年度事業分)
粕屋町社協へ配分されたお金

8,031,700 円

- 4つの使いみち：①高齢者の社会参加活動や生きがい・健康・仲間づくり
- ②未就学児・児童・生徒の福祉向上
- ③障がい者の社会参加活動や生きがい・健康・仲間づくり
- ④地域福祉・ボランティア活動の推進



赤い羽根共同募金の4つの使いみち

Four ways to use Central Community Chest

1 高齢者の社会参加活動や 生きがい・健康・仲間づくり

- 粕屋町シニアクラブ連合会支援
- ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業
- ひとり暮らし高齢者等電話訪問活動
- 外出支援の充実(車椅子無料貸出) など

2 未就学児・児童・生徒の福祉向上

- 地域青少年育成事業(各行政区)
- 福祉協力校活動の支援(小・中学校、高校)
- 子育て情報誌「キッズネット」の発行
- 総合学習支援 など

「総合学習支援」の報告

粕屋町社協では、小学校と協働で福祉教育を実施しています。高齢者や障がいのある方が抱えている困難なことを学び、関わる人や環境が変われば、その困難が軽減・解消することを感じて欲しいと考えています。

令和4年6月30日に大川小学校6年生、7月4日・6日に粕屋西小学校4年生に向け、開催しました。粕屋西小学校では、車いす・アイマスク体験に加え、社会福祉法人三活会に協力を依頼し、オンラインツール「ZOOM」を活用して高齢者施設と小学校をつなぎました。三活会の職員の方より、施設内の様子を動画で紹介いただき、実際の高齢者施設を体感できました。普段見る機会がない様子に児童たちは興味深く、集中して見ていました。

感想の中で「福祉はみんなのしあわせのためにあるとわかった」と書いている児童もいました。この「活動」は当事者の生活の一部にふれる体験ですが、「自分たちに何かできることはないか」という思いを引き出し、心が成長するきっかけになると考えています。また、この機会に学んだことが、これからの生活に役立つことを願います。

粕屋西小学校での総合学習でご協力いただいた、社会福祉法人三活会の皆さまに厚くお礼申し上げます。



3 障がい者の社会参加活動や 生きがい・健康・仲間づくり

- 粕屋町身体障がい者福祉協会活動支援
- 粕屋町知的障がい(児)者親の会活動支援
- 子育て応援サロンの開催(療育児・親子サロン)
- 身体障がい者生きがい対策支援事業(サロン) など

4 地域福祉・ボランティア活動の推進

- 社協だよりの発行
- 福祉委員活動支援
- 各種福祉団体活動支援
- 福祉研修会の開催 など
- 小地域福祉活動の支援
- 献血推進事業

「令和4年度福祉研修会」の報告

粕屋町社協では、地域役員の方々を対象に、福祉に関する意識向上や身近な相談相手となるためのスキルアップを図る福祉研修会を開催しています。



今年度は、佐藤倫子先生をお招きし、「アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)を知って、自分の活動に生かしていこう!」というテーマで講演いただき、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。研修会では、ワークや意見交換をしながら、地域の多様性やアンコンシャスバイアス、より良いコミュニケーションについて学びました。

研修会を通して、自分を振り返り、これからの行動についても考える機会となりました。佐藤先生、参加してくださった地域役員のみなさま、ありがとうございました。

参加者の感想

- 何気なくスルーしていた言葉を研修で意識させられました
- 難しい事かな?と思ったけど、先生のお話は分かりやすかったです
- 無意識の中に自分の気づかないバイアスがあることを知ったことは、今日の収穫でした
- おひとり暮らしの高齢者を慈悲的差別で見ているのかもしれない。相手を理解することが大切だと思いました
- 自治会の会合で役立てたいです

10月1日から
募金活動スタート！
応援をお願いします

いろいろな募金方法

Various Fundraising Methods

赤い羽根共同募金への募金は、直接窓口へ持って行くことをはじめインターネットで募金するなど、様々なしくみ・方法があります。ここでは多くの方が赤い羽根共同募金にご協力いただけるよう、募金の方法を紹介します。

窓口に直接、持参する

共同募金会粕屋町支会の窓口(粕屋町福祉センター)で募金を受け付けています。

共同募金会粕屋町支会窓口で購入する

●寄付金付きバッジを購入する

500円の募金でバッジ1個をお渡しします。福岡ソフトバンクホークス、球団マスコットのハリーホーク等とコラボしたデザインです。



●寄付金付きクオカード・図書カードを購入する

カードは1枚1,000円で、うち約500円が寄付金となります。500円分のクオカードまたは図書カードとして使用できます。

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金運動のシンボルキャラクター
愛ちゃんと希望くん



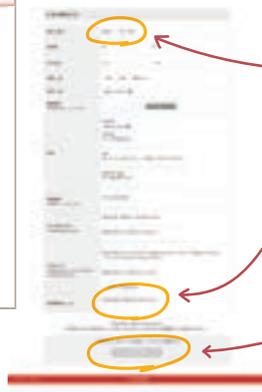
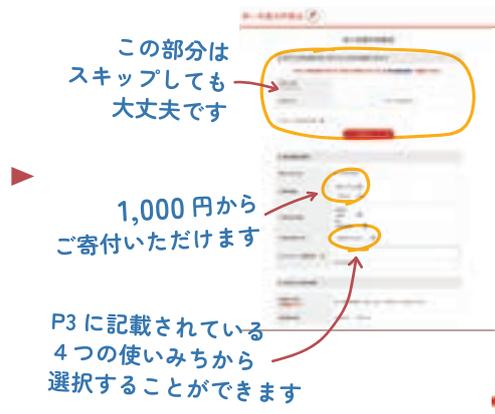
福岡県共同募金会



インターネットで募金する

赤い羽根共同募金は、インターネット寄付システムを活用したネット決済での募金も可能です。粕屋町での活動にご支援いただく場合は、下記のアドレスから手続きをお願いいたします。

<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/homeTown?data.jisCd=40349>



個人か法人・団体か
選択できます

領収書の宛名を
ご指定いただけます

全ての入力完了
しましたらココから
お進みください

粕屋町共同募金会

【住所】粕屋町長者原東6丁目5番10号
粕屋町福祉センター内
【電話】092-938-6844
【時間】8:30～17:00(土・日・祝日をのぞく)

領収書が必要な方は左記までご連絡
ください。また、共同募金を通じたご
寄付には、税制上の優遇措
置があります。詳しくはこ
ちらをご覧ください。



共同募金は、上記以外でも学校募金や街頭
募金など、様々な形で募金を呼びかけてお
ります。今日までの町民の皆さまのご協力
に感謝いたしますとともに、本年度も一層
のご理解、ご協力をお願いいたします。

社協ダイアリー

Kasuya Council of Social Welfare Diary

社協ダイアリーは、「粕屋町社協の日常」をお伝えするコーナーです。
日頃の活動や事業のこと、働いている人の声、ご登録いただいている団体の活動などをご紹介します。
少しでも、みなさんの暮らしに身近な存在になれば嬉しいです。

身体障がい者生き甲斐対策支援通所事業(はげみ会)



七色の会(ボランティア)の協力を頂き、35歳以上の身体障がい者手帳所持者の方に対して引きこもり、孤立防止を目的にサロンを開催しています。参加者を募集しています！興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

【開催日】毎月 第4木曜日10:00~14:30 【料金】1回500円(飲食代等)

【場所】生涯学習センター(サンレイクかすや)

【内容】午前:青洲会病院の講師による無理のないリハビリ活動 午後:レクリエーション等

声の広報お届けします

粕屋町社協からの大切な情報を声でお届けしています。音訳ボランティア「ぱーる会」が音訳し、CDやそのまま聞ける再生プレーヤーを貸し出します。
社協だよりを読むことが難しい方はお問い合わせください。



ご寄贈

ご寄贈ありがとうございます。
○車椅子 1台 匿名

まちの駅に認定

粕屋町福祉センターがまちの駅に認定されました。「まちの駅」は、地域住民や来訪者が求める地域情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間・施設です。まちとまちをつなぐ役割を持ちます。

新人スタッフ紹介

粕屋町の皆様、はじめまして。
6月より粕屋町社会福祉協議会に入職しました、地域福祉活動専門員の徳永と申します。人との繋がりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、粕屋町の地域福祉に貢献できるよう頑張ります。
不慣れな点が多くご迷惑をおかけするかと思いますが、何事も一生懸命取り組んでいきます。ご指導の程、よろしくお願いいたします。



事務局長からのコメント

面接の時、東日本大震災の炊き出しボランティアの話をしてくださいました。そこで、災害ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会に興味を持ち、社会福祉士を目指したそうです。穏やかで親しみやすい雰囲気ですが、「人の役に立ちたい」という熱い気持ちが伝わってきたのを覚えています。
彼女は「相手の立場で物事を考える」を指針に、粕屋町の方々が安心して生活ができるよう真面目に取り組んでいます。これからの活躍に、期待と応援をよろしくお願いいたします！(今村)



高齢者が安心して暮らせる粕屋町をめざして

かすや支え合い通信



生活支援コーディネーター(*)が、粕屋町の人・場所・活動をもっと知るために出向き、出会い、ご紹介いたします。

第4号

団体名 ジョイコーラス



歌うことは生きがいで誤嚥(ごえん)予防にもなり健康にもつながります♪ぜひ参加してください

幅広い地域から参加のある「ジョイコーラス」は、男女混合のコーラスです。先生のピアノ演奏に合わせて粕屋町歌などの合唱を楽しんでいます。リコーダー奏者もあり、素敵な歌声と音色が響き渡っています。

活動日 毎週月曜日
時間 10:00~12:00
場所 花ヶ浦区公民館

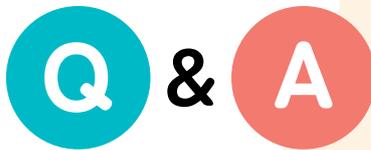
コーラス用に手作りマスクを作成されて感染対策に努めながら練習されていました！皆さま、ありがとうございました！

*生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれています。生活支援・介護予防の活動を知る・つくる・つなげるなどして、高齢者が暮らしやすい地域づくりを住民の皆さまと一緒に進めていきます。



作業療法士に聴く！

ちょっと気になる？ 子どもの動き



粕屋町社会福祉協議会では、児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所を運営しています。このコーナーでは、保護者さまからのよくある相談について、専門的観点から子育ての視点やヒントを紹介しします。今回教えてくれたのは、作業療法士の濱崎先生です。

Q その場でクルクル回り続けたり、ジャンプを繰り返すような時があります。こうした動きは、やめさせた方がよいのでしょうか？

A 感覚にとって大事な刺激を取り入れるためかもしれません。無理にやめさせず、一緒に遊んであげてください！

身体をすばやく回転する感覚を楽しみ、遊びにしてきた経験、みなさんにもきつとあるかと思えます。遊園地にあるコーヒーカップやジェットコースターなどがその例です。実はこの時、耳の奥にある「三半規管」と「耳石器」が、回転する感覚や滑ったり揺れたりという「加速している状態」を感じとっています。筋肉や関節にある「感覚受容器」では、筋肉がどのように引き伸ばされたか、関節がどのように曲がっているかを感じています。これらの機能は胎児の後期から成熟し、新生児の時点では感覚を感じとれるようになります。適度な刺激は子どもを心地よい気分させます。乳幼児が「たかいたかい」を好むのは、これが理由です。

では、本題の質問への回答です。身体は外界からの適切な感覚入力によってバランスを保っています。何らかの原因で感覚入

力が遮断された場合、自分自身に対して刺激を入りて補おうとすることがあります。回り続ける子どもたち

は、この刺激を取り入れるために回っていると考えられます。無理にやめさせず、ブランコやトランポリンなどの遊具と一緒に遊んであげることが望ましいでしょう。

感覚入力がかうまくなくなる原因については、生まれつきや胎児期に受けた障害などにより脳の働きに影響を受けたためと考えられますが、ハッキリとした原因が思い当たらない例も多く、よくわかっていません。しかし、子どもの脳は可塑性と言って障害のある部分を他の部分で補う力を持っています。早期療育で適切な援助・指導を受けていくことが大切です。



さんさんで提供している活動

● マット運動、鉄棒運動、スクーターボード

「屈曲姿勢」「伸展姿勢」の発達を目的とした運動。立ち直り反応や平衡反応など、姿勢反応の発達には重力に抗した姿勢をとれることが重要です。

● 平均台・飛び石ブロック

不安定な場所を歩くことで、足元に強い刺激を感じ、立ち直り反応、平衡反応の発達を促進します。

● バランスボールで跳ねる

跳ね方に強弱をつけることで、求める刺激の強さを自分で調整することができ、床の感触や障害物を設けることで変化をつけることもできます。

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所

さんさん お問合せ先

| 住所 | 〒811-2305 粕屋町大字柚須 136-1
| TEL | 092-409-6468 | FAX | 092-409-6469

※児童発達支援は、11月上旬に移転する予定です。移転後のお問合せ先▼

| 住所 | 粕屋町仲原 2丁目 1-1
| TEL | 092-609-9925 | FAX | 092-609-9926



医療的ケア児対応型放課後等デイサービス事業所

あいあい お問合せ先

| 住所 | 〒811-2321 粕屋町内橋西 1丁目 6-23
| TEL | 092-410-2742 | FAX | 092-410-2743

※TEL・FAX ともに変更ありません

※10月1日に移転



Q 「体を動かす色々な経験をさせてください」というアドバイスを受け、アスレチックなどに連れていくのですが、不安定な場所や高所を怖がります。このまま続けてもよいのでしょうか？

A 子どもが「自分でやりたい」と思える気持ちを育みましょう。
自分からすすんで行うことは恐怖心につながりにくいと言われています。

このアドバイスは私たちもよくします。周囲のものに合わせて体を使うことは、バランス感覚・注意力・体の使い方などを考える面で発達を促すためです。その経験で得た達成感はその自尊心や自信の形成に良い影響を与えます。しかし、怖がるのに無理をさせると、その遊びが嫌いになってしまいます。体を動かす経験をさせる時は、楽しく前向きに挑戦できているかどうか、注意をはらいましょう。

揺れ動く遊具や高所を怖がったり、誰かに動かされ不安や苦痛を感じることを「重力不安」といいます。これは体のバランスを崩した時に働く神経系や、姿勢を保つ時に働く神経系の「処理のまちがい」からくるもので、筋肉がやわらかく姿勢保持が困難な子どもや、運動の組み立てに障害をもつ子ども（行為障害）によく見られます。



筋肉のやわらかい子どもはバランスを崩した時、手を出すことが遅れ、倒れてしまうこともあります。また、行為障害をもつ子どもは動作の予測や行動の順序立てが難しいので、自分が動いた時どういう風にバランスが崩れ、どう修正すればよいかを判断することができません。

どちらの子どもの場合にも、こうした不安があり「動かされること」は嫌う傾向があります。ですので「自分でやりたい」という気持ちを育むことが大切になります。つまり、自分で行うことは恐怖心につながりにくいのです。おすすめの方法は「見本を見せ、どんなふうに動けばよいか予測させること」です。それにより、運動を自分の頭の中で組み立てるきっかけができます。簡単な動きの遊具などを自分で動かすことからはじめ、徐々に自信をつけさせていきましょう。

さんさんで提供している活動

●フラフープくぐり、トンネルくぐり

平衡反応や屈曲姿勢、伸展姿勢の発達が基本となるものが多くあります。ここでは「くぐる」ことに着目し、屈曲と伸展の姿勢を組み合わせ、適応的な行動を引き出し、自分の体の大きさをイメージする機会を作ります。

●ケンケンパリング、平均台

手足の協調、順序の組み立てを必要とする運動です。ジャンプのリズムや動きの一連の流れを意識したり、頭上に障害物を設置し高低差をつけたり、ボールを持たせることで身体全体の動きを組み立てる練習にもなります。

Q つま先立ち、つま先歩きをするのが目立つのですが、矯正しなくてもよいのでしょうか？

A どんな状態でつま先立ちや、つま先歩きをしているかを確認して矯正が必要かどうか判断しましょう。

まずは、どんな状態でつま先立ちや、つま先歩きをしているかを確認してみてください。日常生活のほとんどがつま先立ち・つま先歩きで、踵をつけられないようであれば、アキレス腱や足首などの問題も考えられるため、リハビリテーションが必要となります。

日常は踵をつけて歩いているけれど、時々つま先立ちやつま先歩きをしている場合は、以下の3つのことが考えられます。

1つ目は、遊びとして行っている場合。わざとつま先立ちをして楽しんだり、足をピンとすることで感覚を楽しんでいます。

2つ目は、目覚めの状態を調整しようと無意識に行っている場合。眠いのを我慢しようとする時、首や腕などに力を入れたり、首を振ったり、背筋を伸ばしたりすることがありませんか？これは身体の感覚を利用して覚醒レベルを調整しようとしているのです。

3つ目は Q1 と同様に、感じにくい感覚を強め、自分自身で刺

激を取り込む場合。

いずれも矯正はしなくてよいのですが、自分自身で刺激を強めている場合は、トランポリン・平均台・縄跳びなどで一緒に遊んだり、少し重たい荷物を運ぶお手伝いをしてもらうなど、不足している感覚刺激を補う活動も有効と思われます。



さんさんで提供している活動

●ビッグブロックを使った遊び

両手で抱えないといけない大きさのブロックを用いて、ブロック遊びを実施しています。重たい物を持つということは、両足をしっかりと踏ん張るということになり、足底の感覚を強めることになり、不足している感覚刺激を補うことが期待できます。

お知らせ

2022.10-2023.02

粕屋町社会福祉協議会 公式ホームページ

<https://vc.town.kasuya.fukuoka.jp/syakaifukushi/>

最新情報は、随時ホームページでお知らせします。



心配ごと相談所の開設 10/4、10/18、11/1、11/15、12/6、12/20、1/10、1/24、2/7、2/21

日常生活の悩みや心配ごとなど、弁護士に直接お会いして相談できます。(無料)

開設時間 10～12時(基本、随時受付。9時30分～11時30分まで) ※一部予約制(10時、11時)

対象者 町内在住者(裁判所で訴訟中、弁護士に依頼済みの方は受付不可)

わたしたちのふだんのくらしのしあわせ —— あなたのエピソードをお寄せください♪

なかなか逆上がりができず、何度も泣いて帰ってきた小学1年の息子が、毎日練習して逆上がりができるようになったよー!! と嬉しそうに帰ってきた日!! 家族みんなで夕方、小学校へ行って息子の逆上がりを見たこと!! よく頑張った!!! (甲仲原区・30代)

普段の暮らしの幸せ…そうだなあ、と頭を抱え、小学生の娘にたずねてみたところ、「給食を毎日食べること!」と。即答できる娘に、ほっこりです。給食センターのみなさんありがとう! (原町区・40代)

子どもが好きで、見かけたら声をかけたくなる。駕与丁で赤ちゃんに声かけ、ワーツと泣かれた。ごめんねと言ってマスクをずらしたらニコニコ笑顔に! (花ヶ浦区・80代)

何気ない毎日を感じる嬉しいことやほっこりすること、本誌の感想等を教えてください。住所、氏名、年齢をご記入の上、はがき・封書・web フォーム・FAX でお寄せください。(応募先はこのページの最下段に記載。令和4年11月30日締切) 抽選で雑貨屋 25nico さんのギフト券をプレゼントします。本誌やホームページで紹介させていただきます。 [フォームはこちら](#)



新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な生活資金の特例貸付の受付は終了しました。

休業や失業等により生活資金でお悩みの方へ特例貸付を実施しておりましたが、令和4年9月末で終了しました。新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給及び住居確保給付金の特例措置は、12月末まで延長されました。(お問合せ先はこちら▶ 困りごと相談室 ☎092-938-3001 /月～土 9:30～17:30 /祝日も開所、土曜は電話のみ)

エンディングホール かぞくの心

まずは斎場のご見学から

ご不明な点・ご質問など
お気軽にお問い合わせください。

現地にて
事前相談
承ります

やすぎ会館 かすや斎場

福岡県糟屋郡粕屋町戸原西1-13-1 (JR伊賀駅前)

☎092-931-3533

原町駅前交差点を伊賀駅方面へ車で約5分



社協だよりや弊会サイトに掲載する広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

発行 | 社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会 (令和4年10月発行)

住所 | 〒811-2317 粕屋町長者原東 6-5-10 粕屋町福祉センター内

電話 | 092-938-6844 | FAX | 092-938-6886

メール | kasuya-shakyo@blue.ocn.ne.jp (受付時間 8:30～17:00 土・日・祝日をのぞく)



この冊子は赤い羽根共同募金の
助成により作成しています